



見沼区 公明党 斉藤健一 Saito Kenichi

「道の駅」の整備

Q【斉藤健一】 宮ヶ谷塔地区(見沼区)経済活性化拠点整備による道の駅の整備について。供用開始が当初の予定から遅れた理由は。
A【市長】 令和8年3月に、さいたま市「道の駅」整備計画を策定した。この計画では、導入施設の規模や事業手法の検討、各種法令手続などの基礎条件を整理するとともに、令和15年度の開設を目標に事業を進めていくスケジュールとして取りまとめた。
開設時期が遅れた理由は、道の駅と連動した食肉市場移転再整備の事業精査や、近年の物価高騰による事業費の増加等に対し、財源確保に要する検討・整理を行ってきたことによる。



大宮区 立憲 西山幸代 Nishiyama SaChiyo

大宮東口駅前にぎわい拠点

Q【西山幸代】 大宮駅東口駅前にぎわい拠点に導入が検討されているコミュニティ機能に係る空間については、地域の自治会等が気軽に使えるようなルール作りが必要と考える。
A【都市局長】 コミュニティ機能については、「まちに対してひらかれた小学校・公民館でありながら、豊かな環境と安全性を兼ね備え」とともに、小学校と公民館を中心に地域コミュニティの核をつくる機能の導入を検討することとしている。今後については、民間提案による地域交流の場となる施設や自治会館を有していない自治会等がその施設を優先的に利用できるルール作りなど、地域の皆様にとってよりよい環境が構築できるよう、検討を進める。



北区 さい良良 川崎昭正 Kawasaki Terumasa

盆栽村100年

Q【川崎昭正】 盆栽村開村100周年事業の成果と次の100年に向けた取組について。
A【市長】 開村100周年に当たる昨年度は、シンポジウムをはじめ、大阪・関西万博への出展示や氷川神社でのプロジェクトマッピング、記念式典など、100周年を冠した様々なイベントを実施した。プロジェクトマッピングには約5万2千人の方に来場いただいた。また、大宮盆栽美術館では、第8回世界盆栽大会が開催された。
次の100年に向けて、盆栽振興庁内検討会議を立ち上げた。今年度、「大宮盆栽振興プロジェクト」に基づく取組を検討し、早期に着手できる施策から、スピード感をもって推進する。



岩槻区 無所属 佐藤征治郎 Sato Seishiro

デジタル商品券

Q【佐藤征治郎】 デジタル商品券について、高齢者にスマホ、マイナンバーカード未所持者が多いが、それに関する市の見解。
A【市長】 本デジタル商品券については、多くの方に申し込みいただくため、事業展開の一環として相談窓口を開設し、手続きのサポートをさせていただいた。
窓口では、高齢の方を中心として1万人以上に購入支援をした結果、60代以上の方からの申込割合は全体の約32%に達し、幅広い年代の方に利用いただくことができたと考えます。
マイナンバーカードを活用することにより、不正利用を防止し、利用者が安全に利用いただくことができていると考えます。



南区 自民市議 津和野真佐子 Tswano Masako

大谷口公園

Q【津和野真佐子】 大谷口公園の利用時間について、日没時間や利用者の実態に合わせて、利用時間の延長を対応して欲しい。
A【都市局長】 大谷口公園は、さいたま市南区に位置する、約3ヘクタールの都市公園。
この大谷口公園の利用時間については、地元住民との協議を経て決定した。現状では、多目的広場や駐車場の利用時間は、6月から8月までが朝7時から19時まで、9月から5月までは、朝8時30分から17時までとなっている。
利用時間の延長については、地元住民の意見や利用者のニーズを確認しながら、利用時間の確保ができるよう検討する。



中央区 共産党 竹腰連 Takekoshi Ren

クルド人の祝祭

Q【竹腰連】 桜区の公園で開催されたクルド人の祝祭では、排外主義団体によるヘイトスピーチが発生した。目の前で起きている差別に対し、市は、この実態を把握しているのか。
A【市民局長】 秋ヶ瀬公園で発生した事案についても、新聞等の報道により把握している。
このような事案には、異なる民族的、文化的背景を持つ者同士の認識や理解の不足があると考えており、本市では異なる背景を有する方々との共生に係る研修や講座の開催、啓発冊子の配布等を通じて、相互の理解を促進することで、多様性が尊重され、誰もが生活しやすい人権尊重のまちづくりに取り組んでいる。

「東日本の中枢都市」実現を 合併30周年となる令和13年度の市役所移転をめざして 清水勇人市長

■中東情勢対応を迅速に講じる

緊迫化する中東情勢の影響により、石油由来製品の供給の不安定や価格高騰が発生、本市でも一部事業に影響が及んでおります。
今後、必要に応じて具体的な対応を迅速に講じてまいります。

■防災・減災対策に万全を期す

本市では、市民の皆様安全・安心を守るための防災・減災対策に万全を期してまいります。
埼玉県市長会定期総会では、消防指令センターの共同運用について提案いたしました。
今後、県や市町村、各消防本部と連携し、各消防指令センターの将来的な一元化も見据えながら、検討を進めてまいります。

■上質な生活都市・東日本の中枢都市

5月1日の「さいたま市民の日」に、本市は誕生25周年を迎えました。
この25年間の歩みを礎に、次の25年を見据え、市民、企業、団体等の皆様と力を合わせながら「上質な生活都市」と「東日本の中枢都市」という将来都市像の実現に取り組んでまいります。

■ヌウのBirthday*1

5月1日は、本市のPRキャラクター「つながるヌウ」の誕生日でした*1。これを記念して、鉄道博物館でヌウのバースデーイベントを開催したほか、ステラタウンでも、ヌウの着ぐるみをアップサイクルするワークショップを実施いたしました。

■子育て楽しいさいたま市

本市は、14歳以下の転入超過数が令和5年まで9年連続で全国1位となるなど、子育て世代に選ばれる有数の都市です。
本市では、令和4年度以降、待機児童数ゼロを本年も達成したことで、5年連続となりました。
「こども誰でも通園制度」の本格実施や「放課後子ども居場所事業」の充実により、「子育て楽しいさいたま市」の環境づくりを進めます。

■地下鉄7号線の延伸

地下鉄7号線の延伸については、本年3月、埼玉県と共同で、鉄道事業者に対し、速達性向上事業の実施要請を行いました。
新駅が予定される中間駅は、環境に配慮した100年先まで続くまちというコンセプトの下、鉄道事業と一体的に推進してまいります。

■令和13年度に市役所移転

本年4月には、市役所新庁舎の基本設計が完了し、未来に向けた都市経営の拠点となる具体像をお示しすることができました。
引き続き、建設市況の動向等も注視しながら、合併30周年となる令和13年度の移転を目指して、必要な取組を着実に進めてまいります。

■タンデム型ペロブスカイト太陽電池

3月から、タンデム型ペロブスカイト太陽電池の実証事業を本庁舎敷地内で開始しました。
引き続き、民間事業者と連携し、公共施設を活用した実証事業に積極的に取り組んでいくことで、実用化を後押ししてまいります。

■芝浦工業大学との共創

「共創」の取組として、本年4月には、芝浦工業大学と包括連携協定を締結いたしました。
本協定を契機に、教育・研究資源を活用した連携を一層強化し、市民サービスの向上や地域の活性化に取り組んでまいります。

■FIFAワールドカップ2026

いよいよ来週から(6/11~7/19)、FIFAワールドカップ2026が開幕いたします。
日本代表には、本市にゆかりの深い、浦和レッズ出身の遠藤航選手と鈴木彩艶選手が選ばれております。
本市では、市民の皆様や多くのファン・サポーターとともに、「サッカーのまちさいたま」にふさわしい熱い応援を繰り広げてまいります。

(令和8年6月3日 市議会本会議場 要約本紙)

県民公論のマスコット コンちゃんの がいせつ *1 ヌウ Birthday ヌウの進化 激写! これが初代ヌウ! 豚や牛だと言われていたヌウ! 見沼区をニヌウマ区に! 見沼区をニヌウマ区に! みんなのヌウだよ、だからよろしくね!

ゆるキャラ総選挙ゆるバース

全市職員・議員は毎日1回投票を!

全国の「ゆるキャラ」が一堂に集まって、その人気投票を受ける、ゆるキャラ総選挙「ゆるバース」(旧ゆるキャラグランプリ)が8月1日に「公示」されます。
選挙運動期間は、令和8年8月1日(土)から10月3日(土)までの約2か月にわたる長期戦。
決選投票は、さいたま新都心けやき広場で行われます。
前回100位という雪辱を晴らすため、市民・職員・議員の「オールさいたま」で毎日1回、オンライン投票をしましょう。
県民公論では「ヌウ選対本部」を立ち上げて取り組みます。

8.1から1日1回投票を! つながるヌウ ゆるバース候補者

祈 必勝 為さいたま市ヌウ殿 県民公論社 KenmiKoron



母乳バンク
Q【大貫 田鶴子】 母乳バンクの有効性を広く周知し、ドナー登録の案内や回収拠点医療機関の整備、市独自の補助制度を導入すべき。
【保健衛生局長】 ドナーミルクとは、産婦自身の母乳が得られない場合に、授乳中の方から提供された母乳を、殺菌処理等して低出生体重児等に提供するもの。
 本市では、ドナーミルクや母乳バンクに対し、医療提供体制の観点から特定の医療機関に支援金等を交付することや、母乳バンクの有効性を周知すること、ドナー登録の案内、回収拠点としての医療機関の整備については、現時点では難しいが、国や県の動向などを注視する。

岩槻駅周辺の街路樹
Q【江原大輔】 岩槻駅周辺の活性化や景観形成のために、現在整備を進めている一般国道122号(加倉工区)において、松の木を植樹することは出来ないか。
【建設局長】 街路樹を松にすることは、一般国道122号(加倉工区)だけではなく、岩槻駅周辺における城下町や宿場町としてのまちなみ形成に寄与するものと考え。
 松を街路樹として選定するためには、岩槻駅周辺の活性化や景観形成など、まちづくりの視点を加える必要があるほか、沿線住民の合意形成や、維持管理の方法など、さまざまな課題があるので、まちづくり部局と連携し路線として検討する。

与野本町駅の公衆トイレ
Q【佐藤潤】 与野本町駅周辺における駅前空間の整備にあたっては、送迎のしやすさだけでなく、公衆トイレの設置も重要であり、検討が必要と考えるが市の見解を伺う。
【都市局長】 与野本町駅周辺の利便性の向上に関しては、駅前利用者へのアンケート調査や地元まちづくり協議会と意見交換を実施し、現在、駅前広場の改善として、一般車用ロータリーの設置に向け、詳細設計を進めている。
 公衆トイレについては、今後の周辺環境の状況等を踏まえながら、駅周辺の利便性の向上の一環として、引き続き、慎重に検討する。

農業用水路整備
Q【新井森夫】 農業振興地域整備計画記載の農業用水路整備の今後の検討について伺う。
【経済局長】 農業用水路整備について、現在、市全域に136件の要望があり、今年度10路線の整備を進めている。農業水利施設の維持・管理・修繕についてもご要望に対応して、毎年、通水時期に間に合うよう緊急修繕等を行いながら、対応に努めている。
 引き続き、農業従事者の皆様と情報共有を行いながら、農業環境を向上させるために、水路整備、また交付金等を活用していただきながら、安定した用水の確保、水路機能等の向上を図り、持続可能な農業を目指す。

部活動のバス移動
Q【川村 準】 北越高校の事故を受けて、さいたま市ではどのような調査をしたのか。
【教育長】 5月6日の事故報道を受け、教育委員会では、5月15日付で、部活動等における移動時の安全確保を徹底するよう、教育長名で速やかに通知を発出した。
 調査の結果、令和7年度の借上げバス利用は、中学校で887回、高等学校で45回、中等教育学校で1回となっており、いずれの利用においても、旅客運送無許可、いわゆる白ナンバーのバス使用は確認されなかった。
 教育委員会は、これまで以上に安全対策の強化に取り組む。

携帯トイレの普及
Q【佐藤真実】 在宅避難は、備蓄啓発等のさまざまな仕組みなどが必要である。在宅避難の“実装”と携帯トイレの普及啓発について、市が在宅避難を実際に実践できる状態をつくるために、デジタルを活用するなど、どのように進めていくのか。
【総務局長】 携帯トイレに関して、市民の方々の理解を促進するため、引き続き訓練等で実際に携帯トイレの使い方を体験していただくとともに、新たに使用方法を説明する動画を作成するなど、様々な方法により啓発を進める。
 こうした体験型の啓発を通じて、携帯トイレの理解を促進し、市民が、安心して在宅避難を実践できる仕組みづくりを進める。

市民会館おのみや
Q【吉田一郎】 市民会館おのみやの5階エスカレーター脇のスペースが十分活用されていない。文化芸術活動に限らず、広く市民団体等の打合せスペースとして開放すべきと考える。
【スポーツ文化局長】 令和7年度における主な利用実績としては、国際芸術祭サポーターミーティングを12回開催、文化芸術活動に関する相談会場として3回、市民サポーター及びアーティストとの打合せ等に10回活用された。常設の取組として、アート資源に関するパネル展示を実施している。
 引き続き、施設の設置目的を踏まえ、同事業団と連携しながら、適切に運用していく。

令和8年6月さいたま市議会 一般質問特集

注目質問・答弁抜粋(要約)文責本紙

*参考QRコードは本紙が選択

高校の教育環境
Q【堀川友良】 「多様な個性・特徴を備えている高校教育環境」について、市教委としてどのようにとらえているか。
【副教育長】 本市の市立高校および中等教育学校は、県立・私立とは異なる特色のある教育を提供することで、市域全体の学びの選択肢を広げる役割を担っている。
 具体的には、スーパーサイエンスハイスクールや国際バカロレア教育、大学・企業・地域と連携した探究活動、国際交流など、各校が特色を活かした教育実践を進めており、生徒自らが興味と関心に応じて学びを選べる環境づくりに寄与している。
 引き続き、特色ある学校づくりに努める。

富士山噴火
Q【三神 尊志】 さいたま市における富士山の噴火による被害想定と、対策等について伺う。
【総務局長】 「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」では富士山噴火時には、噴火の規模や風向き等によっては、本市において3センチ以上の降灰が予想されている。
 本市の対策としては、「さいたま市地域防災計画」の「周辺火山噴火対策計画」において、対応や体制等を定めている。
 降灰が発生した場合は、気象庁が発表する情報を基に市民等へ適切に情報発信を行うほか、道路や鉄道、ライフラインの応急・復旧等において、各関係機関と連携して対応することとしている。

コミュニティ農園
Q【佐々木 郷美】 農ある暮らしを展開する中で、コミュニティ農園の推進とコーディネーター育成について。
【経済局長】 今後、提案のあったコミュニティ農園の取組等も含め、他地域における先進事例の紹介や、本市で体験農園を実施している方から事例を話していただくなどの講習会を開催し、体験農園を運営できる人材育成の場を設けることも、検討する。
 子どもから大人まで、都市住民が農業に触れ合う機会の拡大を図ることは、農に対する理解と関心を深めることにつながるものであり、こうした取組を通じて、持続可能な都市農業を推進する。

教員の病気休暇
Q【中山 淳一】 令和7年度に精神的疾患による病気休暇取得をした小中学校の先生の人数と、その状況についての認識と対策を伺う。
【副教育長】 令和7年度の精神的疾患により病気休暇を取得した教員の人数は、135人。
 精神的疾患による病気休暇の取得数は、6年度に比べて減少したが、依然として看過できない課題であると認識する。
 対策としては、令和7年度に、保健師による「教職員健康相談室」を開設、Teams チャットや電話、対面による相談を実施した。
 今年度からは、「ヘルスサポートルーム」を開設、健康管理医や保健師に相談できるようにして、精神疾患の防止に努めている。

高齢者の飼い犬と猫
Q【尾上 貴明】 高齢者の飼い犬、猫サポート体制の構築につき、高齢単身世帯の孤独死によるペットの野良猫化の防止について。
【保健衛生局長】 ペットを飼養する高齢者の方々の、ペットに関する不安に対応するため、動物愛護ふれあいセンターで、様々な相談を受け付けるとともに、「市民からの犬猫等の譲渡掲示板」こちらの方をホームページに掲載して、市民間における譲渡の促進に取り組んでいる。
 高齢者等が孤立死した場合の野良猫化等の防止については、犬又は猫を引き取ることができる相続人等がない場合には、法に基づき動物愛護ふれあいセンターで、引取っている。

武蔵浦和義務教育学校
Q【萩原 章弘】 義務教育学校建設予定地において、子どもたちが喜ぶようなイベントの企画は考えられないか。
【教育長】 工事開始までの期間も無為に過ごすのではなく、子どもたちが「早く通いたい」、という胸を躍らせるようなイベントとか、議員が提案の取組等も含め、地域の皆様方のお知恵も拝借しながら、教育委員会とともに検討する。
 この開校に向けた第一歩、これが子どもたちの未来のためにとっても重要。
 教育委員会としては、地域の誇りとなる学校を築くためにも、私(教育長)自身、強い覚悟をもって臨む。

北浦和駅の駐輪場
Q【池田 めぐみ】 北浦和駅東口近くの駐輪場が7月31日で閉鎖される。新たな市営駐輪場用地の確保について見解を求める。
【都市局長】 昨年度実施した駐輪場の実態調査の結果では、当該駐輪場の閉鎖後、北浦和駅東口における駐輪場の収容台数は利用台数を下回らないことを確認した。
 また、北浦和駅西口には、駐輪台数に比較的余裕がある「市営北浦和駅自転車駐車場」があるので、閉鎖される駐輪場をご利用されている方々に、当施設のご案内を積極的にする。
 新たな市営駐輪場の用地の確保については、民営駐輪場建設補助金の活用により、民有地内での駐輪場整備を促進する。

岩槻の観光まちづくり
Q【吉田 一志】 岩槻の資源を最大限活用した観光施策について市の見解を伺う。
【経済局長】 これまでも岩槻に特化した取組として、大阪・関西万博における岩槻人形の展示や、市内ホテルでの木目込人形のワークショップの開催、「まるまるひがしにほん」での岩槻フェアでは、岩槻人形の展示・販売に加え岩槻銘菓やスイーツの販売を実施するなど、魅力発信や誘客促進に取り組んできた。
 今後については、地域の皆様の声を丁寧に聞き、観光ニーズを把握した上で、関係団体とこれまで以上に連携し、岩槻の魅力発信や誘客促進、地域経済の活性化につながる取組を進める。